

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

水源環境に関する県民の認知の状況や、その環境価値等に関する意識を把握し、水源環境保全施策と費用負担のあり方に関する検討資料とする。

## 2 調査内容

### (1) 水源環境への認知度と考え方

- ①上水道の水質に対する安心感
- ②家庭における浄水器の利用状況
- ③森林の水源かん養機能の認知度
- ④「水源の森林づくり事業」に対する考え方
- ⑤相模川上流ダム湖の水質に対する認知度
- ⑥相模川上流地域の生活排水処理率に対する認知度

### (2) 水源環境保全施策のための費用負担の考え方

- ①水の安定的確保・水質保全のための費用負担の考え方
- ②森林整備及び生活排水処理施設整備に対する費用負担受容額と反対理由
- ③新たな税制措置に対する考え方
- ④水環境や森林保全、環境税制についての自由意見

## 3 調査設計

- (1) 調査地域 神奈川県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女
- (3) 標本数 3,000サンプル
- (4) 標本抽出方法 選挙人名簿による無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 平成14年9月27日～11月5日
- (7) 調査機関 有限会社 流通研究所

## 4 回収結果

### (1) 全体の回収結果

設計サンプル	3,000
有効発送サンプル数	2,970
有効回収サンプル数	2,065
有効回収率	69.5%

(2) 調査票別有効回答結果

本調査は費用負担受容額等の質問（問 8～11）に当たって 5 種類の調査票を用いているため、全体の母数（2,065）をパターン別に配分すると次のとおりである。

問 8～問 10

	1	2	3	4	5
設計サンプル数	600	600	600	600	600
負担額パターン別 n n = 2065	410	404	414	422	415

(3) 地域ブロック別の回収結果

地 域	標本数	有効回収数	有効回収率 (%)
1 横 浜	947	676	71.4
2 川 崎	385	231	60.0
3 横須賀三浦	268	179	66.8
4 県 央	477	308	64.6
5 湘 南	444	301	67.8
6 足 柄 上	179	120	67.0
7 西 湘	150	101	67.3
8 津 久 井	120	80	66.7
地域無回答	—	69	—
全 体	2970	2065	69.5

\*地域区分

横 浜…横浜市全域

川 崎…川崎市全域

横須賀三浦…横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町

県 央…相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村

湘 南…平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町

足 柄 上…南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町

西 湘…小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町

津 久 井…城山町、津久井町、相模湖町、藤野町

## 5 集計・分析にあたって

- (1) 集計（グラフや数表の数値）は、小数点第2位を四捨五入しており、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 集計表等の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (3) グラフの中には、数値の小さいものは省略している場合がある。
- (4) 数値間の比較で大小関係を示す場合は、個々の選択肢の比率の差をとり、「…ポイントの差」という表現をとっている。
- (5) 回答比率（%）はウエイトバック後の数値である。ただし、標本数（n）は回答者または該当者の実数を示す。

### ＜ウエイトバック集計＞

本調査は、地域ごとの傾向を把握するために、世帯の少ない地域においても一定の有効サンプル数を確保する目的で、地域ごとに異なる抽出比率とした。そこで全県の集計にあたっては、県の世帯構成比率を反映した県民ニーズを把握するために、地域ごとにウエイトをつけて集計した。地域により有効回収率にも違いがあるため、ウエイト値の計算には地域無回答を除いた有効回収数を用いた。

地 域	①有効回収数	②世帯数	③ウエイト値 (②÷①)
1 横 浜	676	1,395,243	2063.97
2 川 崎	231	553,352	2395.46
3 横須賀三浦	179	275,668	1540.04
4 県 央	308	550,747	1788.14
5 湘 南	301	467,487	1553.11
6 足柄上	120	35,972	299.77
7 西 湘	101	93,077	921.55
8 津久井	80	24,475	305.94
全 体	1996	3,396,021	X

(注) 世帯は、「神奈川県の人口と世帯（平成13年7月1日現在）」（県統計課）による。

＝ウエイトバック集計とは＝

有効回収数にウエイト値を乗じた数値で集計し、構成比率（%）をもとめること。

《ウエイト値の算定方法》

例) 横浜の場合

横浜の世帯数 1,395,243 ÷ 横浜の有効回収数 676 = 2063.97

・ 横浜のウエイト値 = 2063.97

## 6 回答者のプロフィール

### (1) 性別

性別	比率
男性	45.9%
女性	53.5%
無回答	0.6%

### (2) 年代

年代	比率
20代以下	9.7%
30代	14.7%
40代	18.8%
50代	26.5%
60代	20.8%
70代以上	9.2%
無回答	0.4%

### (3) 地域

地域	比率
横浜	41.1%
川崎	16.3%
横須賀三浦	8.1%
県央	16.2%
湘南	13.8%
足柄上	1.1%
西湘	2.7%
津久井	0.7%

### (4) 世帯員数

世帯員数	比率
1人	5.9%
2人	24.1%
3人	24.8%
4人	25.1%
5人	10.6%
6人	5.9%
7人	1.6%
8人	0.4%
9人	0.1%
無回答	1.5%

(5) 職業

職業区分	比率
会社員・役員	29.7%
公務員・教職員	4.6%
自営業	10.7%
農林漁業	0.7%
主婦	21.9%
パート	9.8%
無職	6.5%
年金受給者	11.5%
その他	4.0%
無回答	0.5%

(6) 水道料金 (2ヶ月あたりの金額。下水道料金とあわせて納付している場合は両方あわせた料金)

2ヶ月の水道料金	比率
5,000円以下	19.9%
5,001円～10,000円	31.9%
10,001円～15,000円	19.0%
15,001円～20,000円	11.1%
20,001円～25,000円	4.7%
25,001円～30,000円	3.4%
30,001円以上	4.2%
無回答	5.8%

(7) 世帯全体の年収

世帯全体の年収	比率
0～200万円	4.4%
201～400万円	17.7%
401～600万円	21.5%
601～800万円	16.9%
801～1,000万円	11.8%
1,001～1,200万円	6.9%
1,201～1,400万円	3.2%
1,401万円以上	4.9%
無回答	12.8%